

日本膜学会第43年会のポスター発表は、年会第1日目の6月4日（金）14時より16時10分までの2時間余りの時間においてオンライン形式で開催されました。ポスター発表総数60件で、このうち学生賞には、人工膜31件、生体膜・境界領域23件、併せて54件のエントリーがありました。年会におけるオンライン形式でのポスター発表は初めてでしたので、開催方式を組織委員会で検討した結果、昨年度の膜シンポジウムで実施して好評であったショートプレゼンテーション方式を採用して行いました。発表時間は発表5分、質疑応答5分の合計10分で、5会場並列進行のZoomミーティングを行いました。本年会においては、時間制約の関係で発表時間を短縮しましたので、満足できる発表ができるかどうかやや不安もありましたが、全会場のいずれの発表においても非常に活発な質疑応答が行われ、安心しました。

審査については、30名の先生方にご協力いただき、過去の年会時と同様にポスター発表1件当たり3名の審査員により、発表によるプレゼンテーション能力、質疑応答によるコミュニケーション能力について厳正に審査をしていただきました。各審査員の得点を集計した結果、優劣つけ難い発表が多数あり、僅差の得点差となりましたが、エントリー総数の約2割に当たる人工膜7件、生体膜・境界領域4件の合計11件の発表が学生賞として選出され、審議を経て承認されました。年会第2日目の午後に学生賞の表彰式が、早稲田大学に設置された運営コントロールセンターにて行われました。スクリーン上に表彰状の画像に併せて受賞者が投影され、後藤会長代行より各受賞者へ学生賞が授与されました。表彰状は後日、受賞者へ郵送されました。受賞された皆様、おめでとうございます。

最後になりましたが、学生賞にエントリーしていただきました学生および指導教員の皆様、ご多忙中にも関わらず快く審査をお引き受けいただきました先生方に厚く御礼申し上げます。また、オンライン形式における学生賞審査の運営にご協力をいただきました徳島大学 玉井伸岳先生、コントロールセンターの皆様並びに事務局の渡部様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

#### 学生賞選考委員（五十音順・敬称略）

赤松憲樹（工学院大学）、荒木貞夫（関西大学）、池田 歩（産業技術総合研究所）、池田恵介（富山大学）、伊藤大知（東京大学）、馬越 大（大阪大学）、大橋秀伯（東京農工大学）、岡村恵美子（姫路獨協大学）、神尾英治（神戸大学）、黒岩 崇（東京都市大学）、斎藤博幸（京都薬科大学）、佐伯大輔（信州大学）、酒井 求（早稲田大学）、島内寿徳（岡山大

学）、新谷卓司（神戸大学）、菅 恵嗣（東北大学）、高羽洋充（工学院大学）、玉井伸岳（徳島大学）、長澤寛規（広島大学）、中瀬生彦（大阪府立大学）、中野 実（富山大学）、南雲 亮（名古屋工業大学）、比嘉 充（山口大学）、松岡 淳（神戸大学）、松木均（徳島大学）、宮田隆志（関西大学）、宮西将史（東京工業大学）、山登正文（東京都立大学）、山本一樹（東京理科大学）、湯元良子（広島大学）

#### 学生賞受賞者（掲載はポスター番号順）

**高橋涼佑**（神戸大学大学院工学研究科）

**E-101** 「ポリアミド-TFC膜特性に及ぼす多孔質セラミック基材の影響」

**小島菜々子**（東京工業大学化学生命科学研究科）

**E-106** 「多孔質膜内での抗原抗体反応を利用した膜透過型イムノセンサの高感度化」

**寺側菜々**（東京都立大学大学院都市環境科学研究科）

**E-107** 「分極結晶を有するナノファイバーからなるリチウム塩含有ポリカーボネート系複合電解質膜の作製と評価」

**栗原雄大**（東京工業大学化学生命科学研究科）

**E-201** 「アンチファウリング膜表面設計に向けた簡便・汎用的な精密修飾法の構築」

**中田惟吹**（名古屋工業大学大学院工学研究科）

**E-206** 「非イオン性マテリアルと有機溶媒の相溶性に着目した耐ファウリング性能の計算化学的解析」

**関根悠真**（早稲田大学大学院先進理工学研究科）

**E-210** 「AEI型ゼオライト膜を用いた酢酸エチル合成膜反応器の開発」

**堀 隼太**（早稲田大学大学院先進理工学研究科）

**E-303** 「界面活性剤添加アルカリ処理法によるゼオライト膜の自己欠陥修復」

**中尾俊樹**（徳島大学大学院先端技術科学教育部）

**E-405** 「モジュール構造変更アナログ脂質の合成と二重膜物性」

**大川将志**（東京大学大学院工学系研究科）

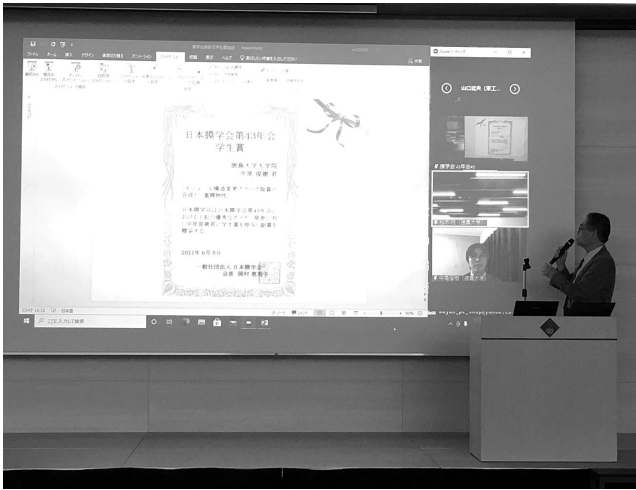
**E-406** 「機能化リンクモジュールの開発とECM模倣ハイドロゲルの創製」

**松宮和生**（東京大学大学院工学系研究科）

**E-409** 「エレクトロスプレー法によるトラス状アルギン酸薬物徐放担体の開発」

**原 江希**（九州大学大学院工学研究院）

**E-509** 「生体由来材料を用いたイオン液体による経皮吸収液晶製剤の開発」



学生賞表彰式